

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスくれよん（ひらの）			
○保護者評価実施期間	2024年 3月 1日		～	2025年 4月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	2025年 3月 20日		～	2025年 4月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている。	10名定員＝30㎡以上に対して64.95㎡とフロアを広く確保している。	職員の配置や利用人数、生活・支援レベルに応じてフロアの区切り方を柔軟に変えていく。またこどもの動静や活動内容によっても細かな配慮から使用について検討の必要はある。
2	学齢期～成人期・壮年期を通しての支援体制	法人として各事業の展開をしており、障がい児者の支援体制を整えている。	各部門での交流を通して、連携しやすい方法や環境をさらに整える。また法人としての全体行事の企画・提案や運営を検討していく。
3	こどもたちの支援について（やりとり・生活スキル等）	人員配置を十分にしており、人とのやりとりを大切に日々の遊びや活動、行事より楽しさや安心を感じられるような支援、関係作りをしている。	季節感のある活動や行事の充実に向けて取り組む。また予定表やおしらせの作成から保護者の皆様に連絡・報告をおこなう。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のこどもと活動する機会	土曜日や長期休業期間中の事業所内外のイベントの企画や参加や図書館、公園といった外出で機会は図っているが、地域の他のこどもと活動する機会は少ない。	平日の活動内容の見直しから交流の機会を検討していく。また事業所行事に際してこどもたちが楽しめる点はもちろん、地域のこどもが参加しやすい企画や、思考を凝らして法人や事業所に関心を持ってもらえるような形を検討していきたい。
2	保護者同士やきょうだい同士の交流の機会や支援	昨年から取り組み始めたため、まだこどもたちや保護者の皆様の意向やさまざまな企画について検討の機会が少ない。	交流の機会はもちろん、どのような企画（学習会・親子参加行事等）を求められているのか再度保護者の皆様から伺い、積極的に行事企画・運営に反映できるように取り組みたい。またきょうだいへの支援について聴き取りから意向調査をおこない、必要に応じて機会に繋げていけるように検討したい。
3	卒業生の進路相談	法人として各事業の展開をしており、障がい児者の支援体制を整えているが、まだ将来を見据えた支援の提案やニーズの把握、細やかな支援の提供に関して検討課題はある。	その人に適した環境作りや法人として様々なことを展開したり、取り組もうとする力が必要である。また法人内で情報共有され、本人やご家族も安心できる環境作りに向けてより具体的に実践できるよう検討をしたい。